

表1 厚生年金の財政見通し (国庫負担割合1/3)

(兆円)

年度	保険料率 (%)		収入合計			支出合計	収支 差引残	年度末 積立金	積立度合 (倍)
	対総報酬	(標準報酬換算)	保険料収入	運用収入					
2000	-	17.35	33.1	22.9	6.2	28.1	5.0	177.2	6.1
2001	-	17.35	33.9	23.4	6.2	29.8	4.1	181.3	6.0
2002	-	17.35	35.1	24.4	6.3	31.5	3.7	184.9	5.8
2003	13.58	17.35	35.7	24.7	6.4	33.3	2.4	187.3	5.5
2004	15.5	19.85	38.2	26.7	6.6	35.1	3.0	190.3	5.3
2005	15.5	19.85	41.6	29.5	7.1	36.9	4.6	195.0	5.2
2010	17.42	22.35	50.8	36.4	8.2	47.5	3.2	210.1	4.4
2015	19.35	24.85	60.6	44.7	8.5	57.7	3.0	218.4	3.7
2020	21.27	27.35	71.9	54.4	9.2	64.7	7.3	237.8	3.6
2025	21.4	27.6	80.2	60.4	10.8	70.8	9.4	280.1	3.8
2030	21.4	27.6	88.2	65.6	12.8	78.0	10.2	332.1	4.1
2040	21.4	27.6	103.0	74.6	15.8	101.0	2.1	403.0	4.0
2050	21.4	27.6	118.0	87.0	15.4	121.0	-3.0	391.9	3.3
2060	21.4	27.6	137.2	104.5	15.4	134.0	3.2	393.0	2.9

[筆者推計]

(兆円)

2000 - 60年度の収入合計 (割引現在価値) (A)	1539
2000 - 60年度の支出合計 (同) (B)	1502
2060年度末の積立金 (同) (A)-(B)	38.2

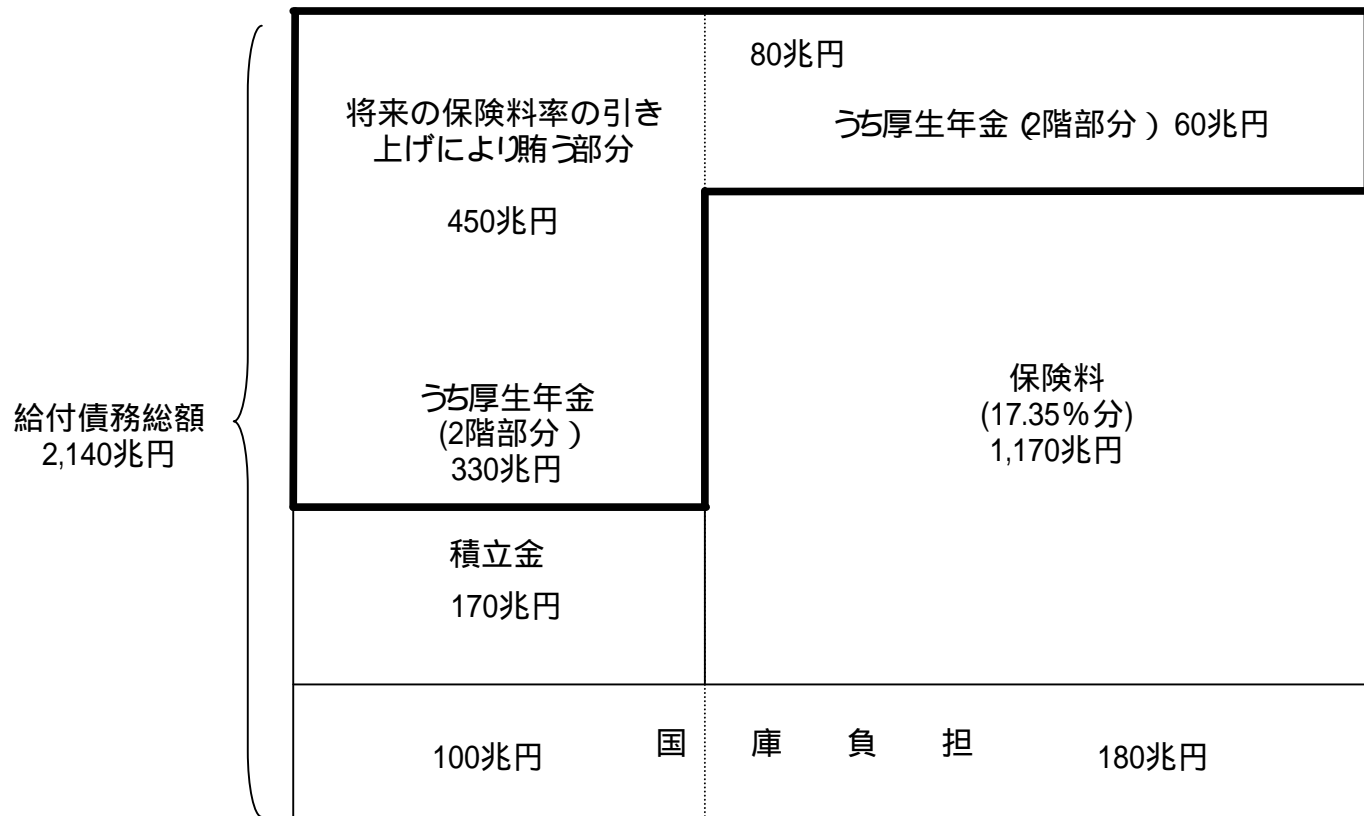
(注) 1.1997年中位推計、運用利回り4.0%、物価上昇率1.5%、賃金上昇率2.5%を想定。

2.割引現在価値は1999年度末時点で評価したものの。

(出所) 厚生省 (現厚生労働省) 資料により作成。

図1 厚生年金の給付現価と財源構成

(国庫負担割合1/3, 1999年度末での評価)



過去期間に対応した
給付現価 720兆円

将来期間に対応した
給付現価 1,420兆円

(出所) 社会保障構造の在り方について考える有識者会議 『21世紀に向けての社会保障』(2000年10月)

表 2 2000年改正と前提の修正

年 度	2000	2010	2020	2025	2030	2040	2050	2060
収支 / 支出								
2000年改正	0.18	0.05	0.09	0.13	0.13	0.02	-0.02	0.02
(A)低位推計	0.18	0.05	0.09	0.12	0.11	-0.03	-0.12	-0.16
(B)運用利回り 2.5%	0.18	-0.01	0.04	0.08	0.08	-0.03	-0.06	0.00
(C)積立金初期値 163兆円	0.18	0.03	0.07	0.11	0.11	0.00	-0.05	-0.02
(A)+(B)+ (C)	0.18	-0.02	0.03	0.06	0.04	-0.09	-0.16	-0.18
積立度合								
2000年改正	6.1	4.4	3.6	3.8	4.1	4.0	3.3	2.9
(A)低位推計	6.3	4.4	3.7	3.9	4.2	3.6	2.2	0.6
(B)運用利回り 2.5%	6.3	4.4	3.7	4.0	4.4	4.2	3.5	3.4
(C)積立金初期値 163兆円	5.8	4.0	3.2	3.4	3.7	3.3	2.4	1.8
(A)+(B)+ (C)	5.8	4.0	3.3	3.5	3.7	3.1	1.7	0.0

図2 2000年改正の評価(1) 厚生年金の収支/支出比率

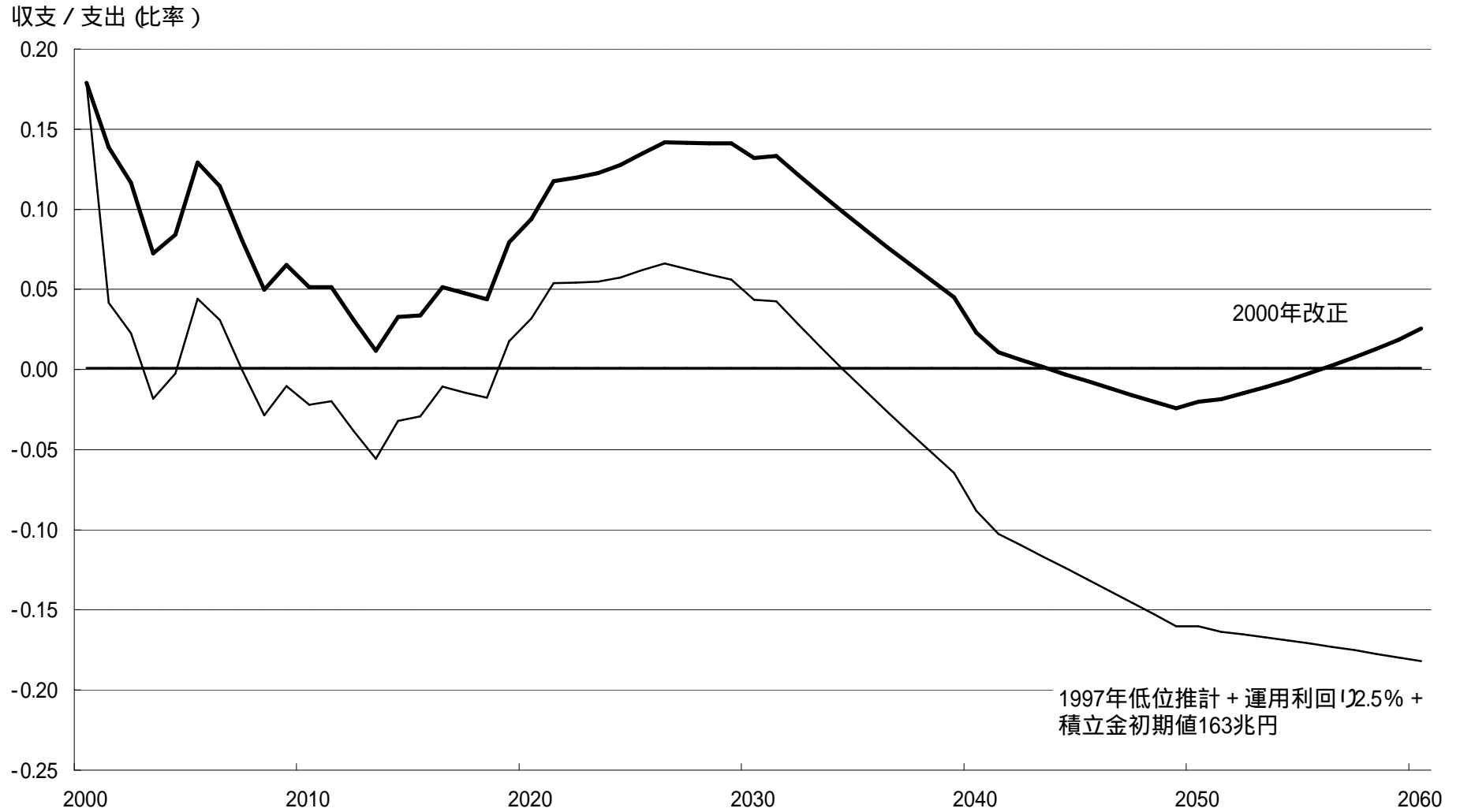


図3 2000年改正の評価(2) 積立度合

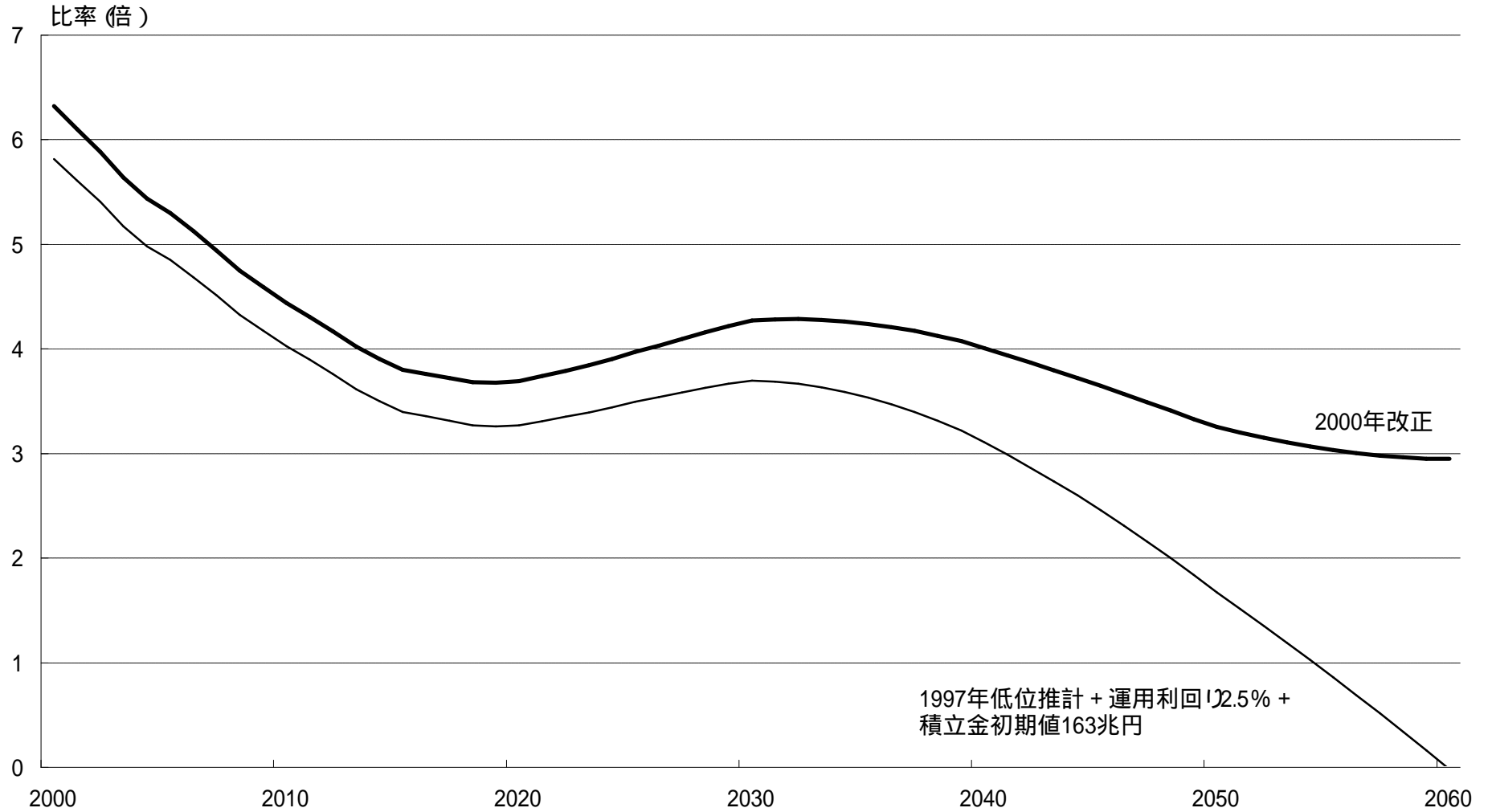
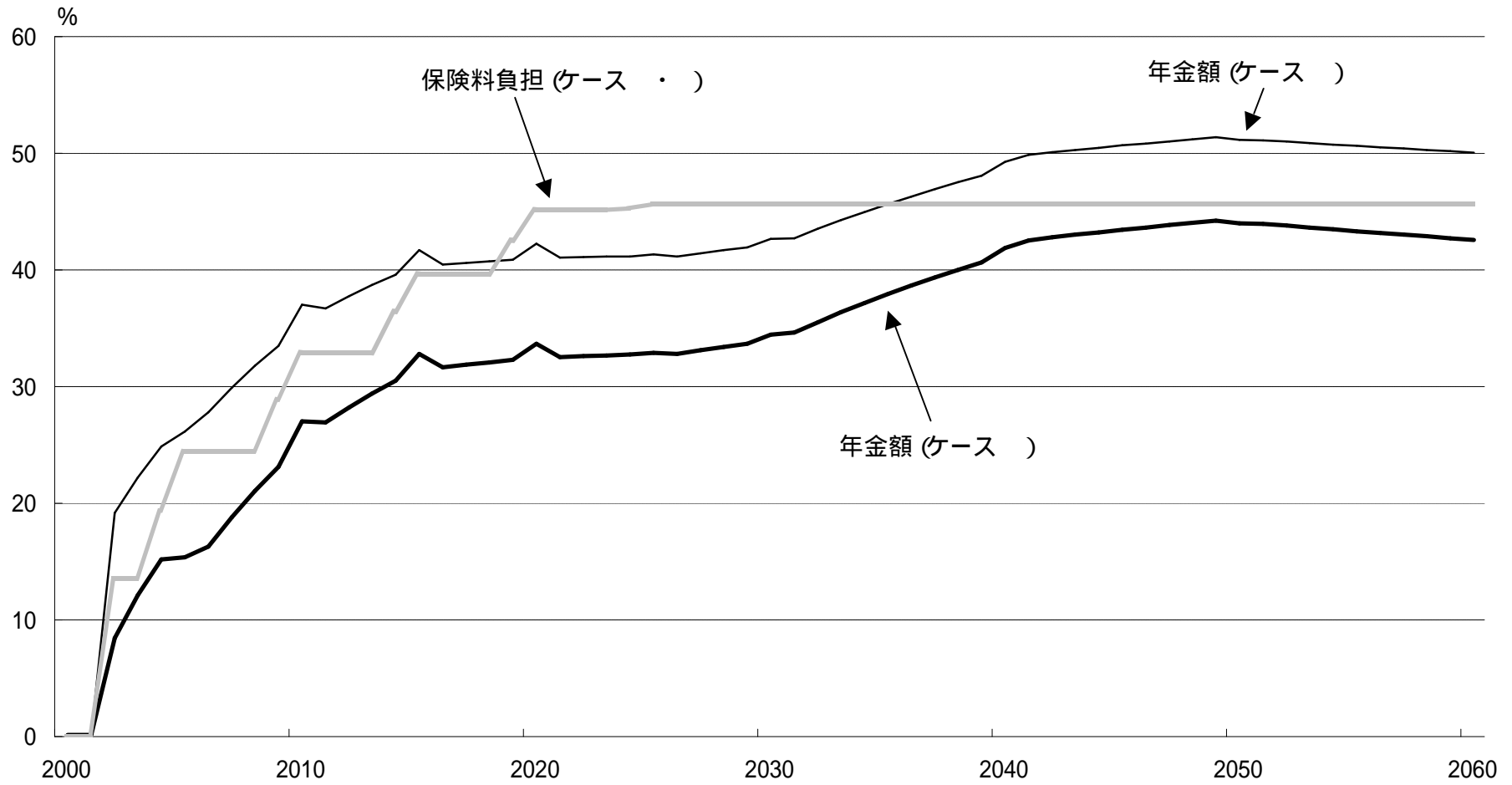


表3 各改革案における年金額の削減率

年 度	年 金 額 削 減 率				(参考)保険料削減率 ケース .
	ケース	ケース	ケース	ケース	
2002	8.6	-2.2	19.0	8.3	13.5
2003	12.0	1.9	22.0	12.0	13.5
2004	10.0	0.4	24.7	15.1	19.4
2005	6.5	-4.3	26.0	15.2	24.4
2006	8.6	-2.9	27.7	16.2	24.4
2007	11.4	0.3	29.7	18.7	24.4
2008	13.8	3.1	31.6	20.9	24.4
2009	11.6	1.2	33.3	23.0	28.9
2010	12.4	2.3	36.9	26.9	32.9
2015	11.6	2.7	41.5	32.6	39.6
2020	5.0	-3.6	42.1	33.5	45.2
2025	2.4	-6.0	41.2	32.8	45.7
2030	4.8	-3.4	42.5	34.3	45.7
2035	10.3	2.5	45.5	37.8	45.7
2040	16.9	9.5	49.1	41.8	45.7
2050	20.7	13.5	51.0	43.9	45.7
2060	18.7	11.2	49.9	42.4	45.7

- (注) 1. 2000年改正が想定する値に対する削減率。
 2. 1997年低位推計、運用利回り2.5%、物価上昇率0%、賃金上昇率1.5%、1999年度末の積立金163兆円を想定。
 3. ケース 、 の保険料率は2002年度以降15%で固定。

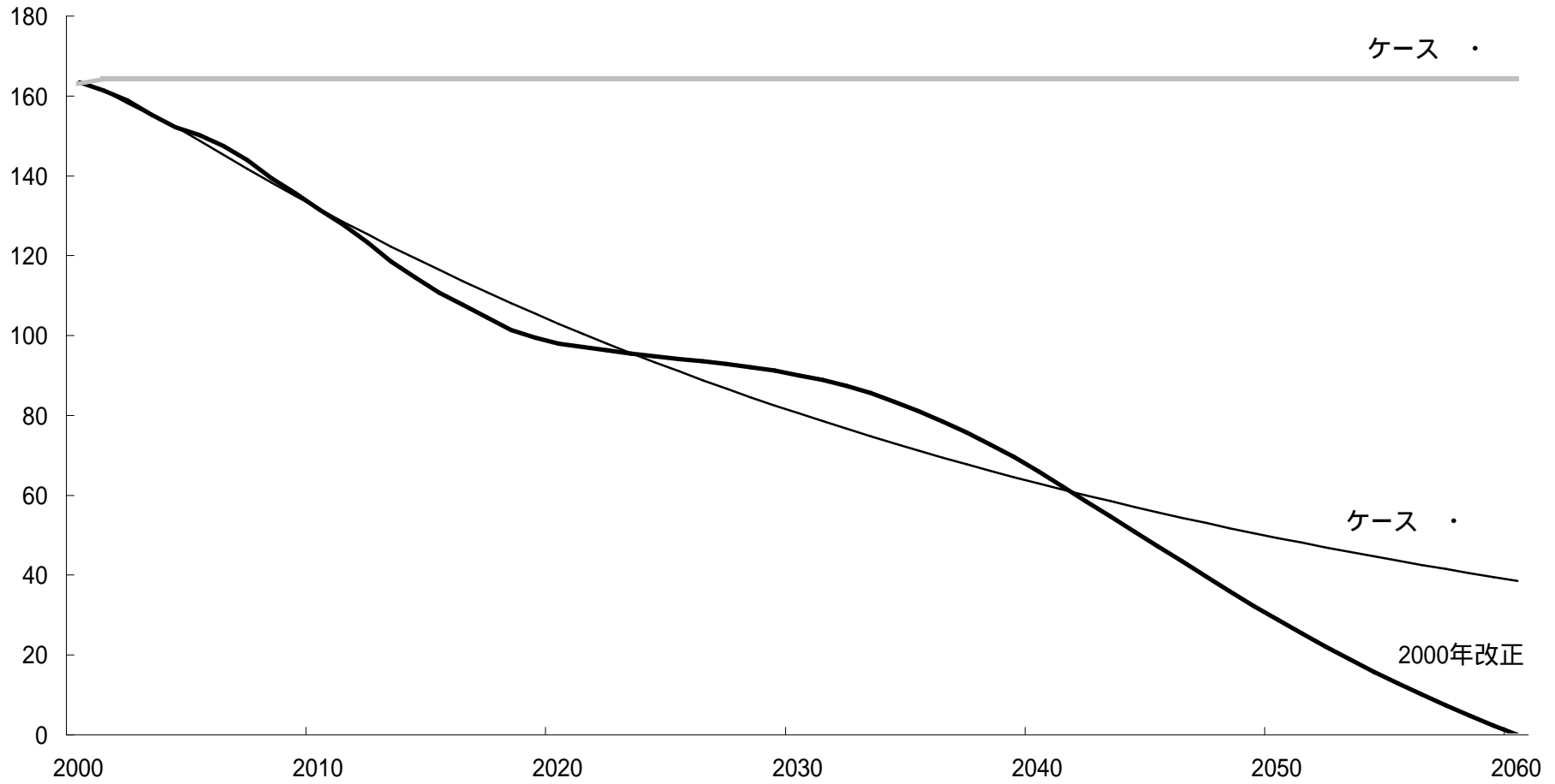
図4 ケース・における年金・保険料の削減率



(注) 表 3の数値をグラフ化したもの。なお、表 3の注を参照。

図5 年金積立金の将来見通し

1999年度末時点の割引現在価値 (兆円)



(注)表3の注を参照。

表 4 生年別年金純受給率

(生涯賃金比,%)

生年	1930年	1950年	1970年	1990年	2010年
夫婦					
2000年改正	32.9	6.2	-4.8	-10.8	-14.3
ケース	31.0	5.1	-7.1	-13.2	-16.5
ケース	32.9	6.4	-6.1	-12.3	-15.6
ケース	27.6	0.6	-5.0	-4.8	-6.5
ケース	29.4	2.0	-4.1	-3.8	-5.6
単身					
2000年改正	16.3	-1.3	-11.1	-16.3	-17.2
ケース	15.2	-2.2	-12.9	-18.3	-19.2
ケース	16.3	-1.1	-12.1	-17.5	-18.4
ケース	13.4	-5.7	-10.0	-9.8	-9.8
ケース	14.6	-4.6	-9.3	-9.0	-9.0

(注)表 3の注を参照。